東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部
２０２５年１１月１５日発行
第１８号（通巻第３７８号）
発行者：星山 圭　編集者：組織部

横浜地本で新たな仲間が加入！

新たな仲間と共にがんばろう！

社員の努力に対する還元・成果配分…
年間5.9ヵ月分では納得できない！

本部申15号・2025年度年末手当回答の再考を求める緊急申し入れ提出

期末手当年間最低6・5カ月が必要！
全社員一律基準内賃金の3・7カ月分支払い求める

中央本部は11月12日に、申15号として２０２５年度年末手当回答の再考を求める緊急申し入れを提出しました。

中央本部は11月11日に、申第11号・２０２５年度年末手当に関する申し入れの第３回団体交渉を行い、経営側より回答を受けました。

「基準内賃金の３・０カ月分に特に０・１カ月分を加算し３・１カ月分とする」とした回答に対して組合側は席上妥結せず、中央執行委員会において議論を行いました。

この間の社員の努力に対する評価をめぐり労使の乖離が大きすぎることから、再考を求めて経営側と議論を継続させていくこととしました。

中央本部は社員の努力に対する正当な成果の配分を求めて、11月12日に本部申15号・２０２５年度年末手当回答の再考を求める緊急申し入れを提出しました。

■本部申15号　要求項目

1．２０２５年度年末手当の基準額は全社員一律「基準内賃金の３・７ヶ月分」とすること。

2．２０２５年度年末手当は２０２５年12月12日（金）までに支払うこと。

２０２５年度年末手当第３回団体交渉
社員の努力に報いる回答求める

基準内賃金の３・７カ月分の支払いを求めた本部申11号・２０２５年度年末手当に関する申し入れの第３回団体交渉は、11月11日に行われました。

経営側は年末手当の基準額について、基準内賃金の３・０カ月分に０・１カ月分を加算した３・１カ月分を回答しました。

その上で、年末手当は直近の業績をベースにして総合的な状況を勘案して、議論して決定するものであり、社員の構造改革への取り組みや期待を考慮し、０・１カ月の加算を行ったとしました。

第２四半期決算について、営業利益は費用増もあり20億円の減益となったとした上で「営業費用は今後もさらに増えていくと想定している」とした経営側に対して組合側は、費用増を社員がコントロールすることはできないと指摘しました。

その上で、社員の奮闘によって営業収益を約５００億円も増収できたことによって営業利益の減益が20億円で済んだと言えると訴えました。

組合側は、営業収益で言えば過去２番目であり、社員の努力が収益増加に大きく貢献していると主張し、その成果を正当に反映する手当を求めました。

経営側は、融合と連携など社員の努力について全く否定するものではないとしつつも、直近の業績や費用増加などを総合的に勘案して決定したとの考えを繰り返しました。

その上で、支給水準としては過去最高であるとの認識を示し、会社としては現在の業績動向を踏まえて、社員や家族の幸福の実現にできる限り応えるものとして回答しているとしました。

組合側は、物価が上昇し、社員数も年齢構成も違うことを考慮すると比較にならず、過去最高額という表現は適切ではないと指摘しました。

３・７カ月分の組合要求に対して０・７カ月の差があることから再考を求めましたが、経営側は回答書として示したものが最終回答であるとして再考する考えはないとしたことから、組合側は席上妥結せず、持ち帰り議論としました。

「年間5・9カ月」に対する本音続々と

年末手当が３・１カ月であれば、年間の期末手当は５・９ヵ月となります。

会社回答に対して、東日本ユニオンには組合員・社員から多くの意見が届いています。

◆　◆

・やっと3カ月を超えたかと思う反面、３・１に抑えられたと捉えている。全然満足していない。

・わざわざ「＋０・１ヵ月」と示しているのは、「本当は３・０ヵ月だけどプラスして出してやるから有り難く思え」という会社の態度が見え見えで腹立たしい。

・３・０ヵ月を越えたのは久しぶり。でも年間６・０ヵ月にも届いていない。

・社員のやる気を出させるならボーナスくらいもっと出せばいいのに。

・年間トータルは５・９ヵ月。物価高などを考えると足りない。物価上昇に全然追いついていない。

・物価が上がって生活が苦しいのに年間６カ月を超えないのか。あれだけ忙しく仕事してたったこれだけなのか？

年末手当3・7カ月を実現しよう！
新津地区分会定期大会
年末手当総決起集会

新津地区分会は10月26日、新津美幸町会館において、29名の組合員の参加のもと、第13回定期大会を開催しました。

４名の代議員からの業務上の問題点、退職を目前に迎えたＪＲ人生の振り返り、安全への取り組みについて、組織拡大に向けた取り組みなどの発言により、大会を成功裡に導いて頂きました。

大会終了後には年末手当総決起集会を行い３・７カ月満額獲得に向けて奮闘していくことを確認しました。

（新津地区分会投稿）